



MIKI INTERNATIONAL ASSOCIATION

VOL.50

2014.1

平成26年1月

三木市国際交流協会



あけましておめでとうございます



日本語クラスにおける異文化交流

「こんばんは」「お久しぶり」「お元気ですか」月曜日の夜7時、外国人住民が日本語学習のため、教育センターの一室に集まります。彼らを支援するのは日本語ボランティアの方々。ほぼ1対1で、学習者のニーズに応じた勉強をします。

キャリアアップのために日本語能力検定試験を目指す人々、結婚を機に来日し、生活のために日本語を習得する人々、研修生、実習生など13か国約40名とボランティア30名が集う様子は、まるで空港の国際線ターミナル、誇張するとオリンピックの閉会式での親善交流のようです。主言語は日本語ですが、時には母語のスペイン語、中国語や英語が飛び交います。

“多文化共生” “多様性” 最近よく耳にするこの言葉を肌で実感するこの場は、日本人としての本質を問われる時でもあると意識し、彼らと向き合います。私たち日本人にとつても諸外国の文化、社会を知る良い機会でもあります。日本語学習を通して、もちろんたれつの人間関係を構築し、グローバルな“人づくり”的役目を担うクラスでありたい、そんな思いで「さよなら」「また来週！」と声を掛け合い、レッスンを終了します。

A1463◆中尾プラパッソン（タイ出身）

9月29日に竹田城跡と生野銀山へ行きました。バスには日本語の先生や生徒、合わせて23名が乗っていてにぎやかでした。

はじめは竹田城跡に登り、きれいな景色を見ました。山道を登るのは大変だったので、お茶を飲みながらゆっくり歩きました。他の人はとても元気だったので、少し恥ずかしかったです。竹田城跡にはたくさんの石が積み上げてあって、すごかったです。私のふるさとタイにも石を積み上げて造った遺跡があります。日本の皆さんにも是非見てほしいです。

次に生野銀山に行きました。昔のやり方で手だけで銀を掘るのは大変だったと思います。私は坑道に祭られている神様に手を合わせました。他の国の人とも話せて、とても楽しかったです。



A1472◆戸川 あつこ（日本語ボランティア歴1年）

日本語学習者との初めてのバス旅行。当日はお天氣にも恵まれ、山の中腹にある駐車場でバスを降り、頂上の竹田城跡を目指します。予想以上の登りのきつさと暑さで、みんな汗だくになりましたが、城跡の上に着くと、吹きわたる涼しい風と眼下に広がる美しい景色に自然と笑顔になりました。

昼食は近くのお好み焼やさん。初めて自分でお好み焼を焼く外国人の方もいて、お互いに作り方を教えあったりしながら、ワイワイと楽しくいただきました。

生野銀山では、暗くて寒い坑道を歩きながら銀を手掘りしていた時代の苦労や明治以降の近代的な採掘法などを学ぶことができました。帰りの車中ではクイズ大会が開かれ、勝者には賞品が貰えたりして、大いに盛り上がりました。



NEW FACE ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

サンチャヌス 北嶺 エミリアノ ハビエル

(アルゼンチン出身・2010年来日)



日本語は、会話の言葉と、読み書きの言葉が大変違うので難しい。けれども楽しいです！

A1232◆片岡 紘一（日本語ボランティア歴1年）

エミリアノさんは、1980年生まれの好青年です。MIAでの日本語学習は始まったばかりですが、母国で10年ほど日本語を学習され、ひらがなやカタカナ、漢字もだいたい読める、書けるという実力者です。日本語能力試験N2を目指しています。難しい単語の意味や文法的に正しい表現か？などと聞かれますので、教える側の私が多くの勉強をさせられています。国語辞典とスペイン語辞典が必携となります。

彼は、関西が大好きで、三木市に単身で滞在しています。できれば、日本に永住したい！という気持ちをも持っておられます。その実現に私も責任の一端を感じております。

ANIMO!!(頑張ろう!!!)

金物まつり “通訳ボランティア”として

2013/11/2~11/3



▼丸太切り大会に出場、タッチの差で優勝を逃しました



▼買い物三昧と日本文化に触れた2日間でした

ユンジュン
A1166◆佐野 潤貞（韓国語講師）

「金物祭りで、韓国人団体の通訳をお願いですか？」突然の電話に戸惑いました。経験はありませんが、ボランティアということで理解していただき、初めての通訳に挑戦することにしました。

当日はお天気にも恵まれ、会場は大盛況でした。その団体は、韓国の伝統家具などを作る次期人間国宝と言われている方と、その弟子9名でした。さすがに質問も専門的なことばかりで、分らないことだらけでした。しかし、段々質問内容や説明が分ってきて、皆さんから「弟子入りしなよ！」と冗談も言われ、とても楽しい2日間でした。

彼らは口を揃えて「高品質な金物が一ヶ所でこんなにたくさん揃っているのは、世界でも珍しく、とても貴重な経験だ。」と言っていました。未熟な通訳でしたが、皆さんに喜んでいただき、母国の人々と思う存分韓国語を話せて、とても幸せな気持ちになりました。そして、三木市の誇り、「金物」をもっといろんな方に知ってもらいたいです。

PHD協会 “ホームステイプログラム”

2013/11/28~12/5

モーママ【滞在期間8か月】
(公益財団法人PHD協会ミャンマー研修生)

私は、11月28日から12月5日まで三木市そうごうほけんふくしセンターで勉強しました。そのあいだ、2けんの家におせわになりました。

はじめは前田さんでした。お父さんはいそがしいけど、まいにちおくりむかえしてくれました。お母さんはとてもあかるくて、かぞくのみなさんはやさしくて、よかったです。私をほんとうのむすめみたいにたすけてくれました。いっしょにゆうきのうぎょうも勉強しました。ゆうきやさいをじぶんでつくってたべることは、からだにいいです。

つぎの赤松さんの家もよかったです。お母さんから、はじめてじぶんできもののきかたを勉強しました。お母さんはやさしくおしえてくれました。きもののきかたはむずかしいけど、ちょっとわかりました。とてもたのしかったです。ありがとうございました。



▼有機農業を体験して…新鮮で美味しい！



着付け体験をして…おしゃかでしょ？

A1478◆赤松 早苗（日本語ボランティア）

元気印の女の子が我が家にやってきました。ミャンマーから一年間、保健等について研修を受けるために来日。メインのホームステイ宅はあるものの各地で研修があるため、その先々でホームステイをしています。

最初の約1ヶ月、日本語を集中的に勉強し、即研修開始。我が家に来た時には半年は過ぎていましたが、喋る喋る。ゼロから短期間で良くぞここまでと驚くばかりです。自分のことはもちろん、ミャンマーの家族や生活、日本のホームステイ先のお父さん、お母さん、そして、研修のことなどなど。

初めての国、慣れない環境の下、自分の村のためにと本当に一生懸命に勉強しています。“村のために”が口癖でした。そして、楽しんでいました。「お父さん、お母さん」と慕ってくれ、遠くに暮らしている娘が急に帰ってきたようでした。最初のホームステイ先で着物を頂いたから、村の皆に着せてやりたいと、2日間で着付けを覚え、私たちに“元気の元”というお土産を置いて別れを告げました。



金物まつりでは、多くの方の善意をいただき、総額 **274,365** 円となりました。
国連関係や国境なき医師団、台風で甚大な被害を受けたフィリピンで援助活動する神戸の**CODI**など10団体に寄附いたしました。

第3回国際理解講座 「エルドラド伝説の国コロンビア」 ～JICA青年海外協力隊員として～

1/26 13:00
市役所5F大会議室

三木市国際交流協会
COOL MIRD

I部 13:00～ II部 15:15～
「英語de落語」「日本語de発表」
2/11 三木山森林公園・音楽ホール

**ホスト
ファミリー
募集!**

外国人に関する ボランティアをしてみませんか

外国人訪問者の受け入れ
外国人住民相談
日本語学習支援など

*会員登録が必要です

英語などの外国語が出来なくても大丈夫！
“おもてなし”は世界に誇れる精神です。
小さな外交官として外国人と交流し、
さらには、若者が海外へ目を向ける一端を
担っていただけませんか。
よろしくお願いします！！

国際料理教室 「プロに教わるネパール料理」

パタクテトリ ガンデップクマル講師

2/23 10:00
南交流センター調理室

PEOPLE LIKE US! ~外国人市民からのメッセージ~

FMみっきい 76.1 MHz

毎月 第1・3火曜日 12:15～12:20
(再放送: 第2・4火曜日)

三木市での経験、母国の紹介など
外国人市民の意見にご傾聴ください。

1/7	高剣 (中国出身)	1/21	ハサンオマール (シリア出身)
2/4	李光輝 (中国出身)	2/18	イアンマクニコール (カナダ出身)
3/4	2013年度発表者	3/18	2013年度発表者

編集あとがき



先日、ある会で外国人ばかりの中に日本人數名という経験をしました。英語圏の外国人だけではないのですが、共通語は英語。母語なまりの強い英語で活発に意見を述べる方々に、我々日本人は押され気味です。どう話すではなく、何を話すかという意識が強いのでしょうか。

グローバル化が進み、今後ますますこのような機会は増えるでしょう。英語を学ぶ今の子どもたちが、臆することなく意見交換の輪に加わり、堂々と意見を述べる力をつけるにはどうすればよいのか、当協会にとっても大きな課題です。

編集・発行

三木市国際交流協会
Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30 (市民ふれあい部 市民協働課内)

TEL (0794) 89-2318

FAX (0794) 82-9755

[E-mail] kokusai@city.miki.hyogo.jp

[ホームページ] <http://www.city.miki.hyogo.jp/>